

保護者の方でご記入をお願いします。

# 学校感染症報告書

学年 組 氏名

(診断名： ) と診断されました。

発症した日 令和 年 月 日

受診した日 令和 年 月 日

受診した医療機関名 \_\_\_\_\_

★インフルエンザ・麻疹の場合 解熱した日

令和 年 月 日

登校許可日 令和 年 月 日

※出席停止期間は下記に従い、主治医の指示に従って登校してください。

学校長様

保護者氏名 \_\_\_\_\_ 印

## 主な学校感染症と出席停止の期間

病名	出席停止の期間	主な症状
インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ解熱後2日間	高熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛
百日咳	特有の咳が消える、または5日間の抗菌性物質製剤による治療終了まで	特有の激しい咳
麻疹(はしか)	発疹に伴う発熱の解熱後3日まで	全身の発疹、発熱、咳、鼻水
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	腫れが出た後5日経過し、かつ全身状態が良好になるまで	耳下腺のはれ、圧痛、発熱
風疹	紅斑性の発疹が消失するまで	発熱、発疹、頸部リンパ節腫脹
水痘(水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化するまで	発熱、水疱性皮疹
咽頭結膜熱(プール熱)	主要症状消失後2日まで	高熱、咽頭痛、頭痛、結膜炎
結核	症状により感染のおそれがないと認められるまで	咳、痰、発熱、血痰、胸痛
髄膜炎菌性髄膜炎	症状により感染のおそれがないと認められるまで	頭痛、高熱、けいれん、意識障害
流行性角結膜炎	医師により感染のおそれがないと認められるまで	結膜充血、眼瞼腫脹、軽熱、頭痛、目やに
溶連菌感染症	抗生剤治療開始後24時間経過し、全身状態が良好になるまで	発熱、咽頭痛、発疹、莓舌

## 学校感染症といわれるもの

第一種	エボラ出血熱　　クリミア・コンゴ出血熱 ペスト　　マールブルグ病　　ラッサ病 急性灰白髄炎　　ジフテリア　　南米出血熱 痘そう　　重症急性呼吸器症候群 （病原体がSARSコロナウイルス）
第二種	インフルエンザ　　百日咳　　麻疹 流行性耳下腺炎　　風疹　　水痘 咽頭結膜熱　　結核　　髄膜炎菌性髄膜炎
第三種	腸管出血性大腸菌感染症　　コレラ 急性出血性結膜炎　　細菌性赤痢 腸チフス　　パラチフス　　流行性角結膜炎 その他の感染症（